

おくすり Q&A

HPV ワクチン (子宮頸がんワクチン) について

Q. HPV ワクチンの積極的推奨が再開されると聞いたのですが…？

A. HPV ワクチンは 2013 年に定期接種に追加されましたが、副反応を訴える報道などが相次ぎ、厚生労働省は 2 か月後に積極的な接種の呼びかけを中止しました。しかしこの度、安全性や有効性を示すデータが国内外で集まっているとし、積極的な接種の呼びかけを今後再開することが決定されたそうです。

そもそも子宮頸がんって？

HPV (ヒトパピローマウイルス) の感染が原因と考えられています。女性の多くが 1 度は感染すると言われており、その一部の人子宮頸がんになってしまうことがあります。日本では毎年、約 1.1 万人の方が子宮頸がんになり、約 2,800 人が亡くなっています。また、治療により子宮を失ってしまう人も約 1,200 人います。子宮頸がんに対して私たちができることは、

『HPV ワクチンで HPV 感染を予防』+『子宮頸がん検診で早期発見・早期治療』

Q. HPV ワクチンってどんなもの？

A. HPV の中でがんを起こしやすい種類のうち、一部の感染を防ぐことができます。それにより子宮頸がんの原因の 5～7 割を防ぐとされています。世界 100 か国以上で公的な予防接種が行われており、イギリスやオーストラリアでは接種率は約 8 割です。日本での定期接種の対象者は小学校 6 年～高校 1 年相当の女性です。対象者は公費による接種が可能です。公費対象の HPV ワクチンは 2 種類あり、どちらも間隔をあけて合計 3 回接種します。

Q. HPV ワクチンのリスクは？

A. 接種後には多くの方に一時的な接種部位の痛みや腫れが起こることがあります。まれですが、重いアレルギー症状が起こることもあります。また、手足の動かしにくさや体の一部が意思に反して動いてしまうなどを中心とした多様な症状が起きたことも報告されており様々な調査研究が行われていますが、ワクチン接種との因果関係があるという証明はされていません。



Q. 大切なことは？

A. **子宮頸がんや HPV ワクチン、子宮頸がん検診などについて、まずは知ってください。** 更に詳しい情報や最新情報は厚生労働省のホームページなどでご確認ください。

ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん (子宮けいがん) と

HPV ワクチン～ | 厚生労働省

(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/index.html>)

効果やリスクを知ったうえで考えることが大切です。

執筆薬剤師 中村 桃子

わたしの健康とくすり

第311号



撮影/田中 晴美

今月の内容

- ・疾患シリーズ 肝炎について：肝炎の診断 《連載・第 3 回目》
- ・ちょっとお耳を…… 鉄分について
- ・おくすり Q & A HPV ワクチン (子宮頸がんワクチン) について

2021 年 12 月発行

発行者 八王子薬剤センター 茂木 徹
東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

肝炎について：肝炎の診断

第3回目は、肝炎の診断について解説します。

一般によく知られているA～E型の五種類の肝炎ウイルスやそれ以外の肝炎ウイルスの診断には、血液を用いて抗原及び抗体検査を行う**血液検査を行います**。(図1,2)血液中のそれぞれのウイルス量を測定することも診断に重要です。肝炎ウイルスの診断は、これらの抗原抗体検査とウイルス量の結果により、急性肝炎なのか慢性肝炎なのかを診断します。ウイルス量は、血中の核酸の量を測定することで評価しますが、唯一DNAウイルスであるB型肝炎は、血中の**DNA量**を測定します。B型肝炎以外のウイルスは、血中の**RNA量**を測定します。



図1 A～E型肝炎ウイルス

肝炎ウイルス	A型肝炎	B型肝炎	C型肝炎	D型肝炎	E型肝炎
抗原・抗体検査	IgM型 HA抗体	HBs抗原 HBs抗体 HBe抗原 HBe抗体 IgM型Hbc抗体	HCV抗体	HDV抗体	IgA型HEV抗体
核酸	HAV-RNA	HBV-DNA	HCV-RNA	HDV-RNA	HEV-RNA

図2 その他の肝炎ウイルス



肝炎ウイルス	単純ヘルペスウイルス (HSV)	EBウイルス (EBV)	サイトメガロウイルス (CMV)
抗原・抗体検査	IgM型HSV抗体 (+)	IgM型VCA抗体 (+) 抗EBNA抗体 (-)	IgM型CMV抗体 (+) CMV-pp65 抗原 (+)

またB型肝炎の場合には、急性、慢性肝炎の状態の他に、**非活動性キャリア**と言う状態が存在し病態が少し複雑です。この非活動性のキャリアは、慢性的にウイルスが感染していても、肝炎を発症せず肝臓にウイルスが潜伏しているだけで、炎症を起こさない状態をいいます。非活動性キャリアは、乳幼児への**垂直感染**^{*1}により感染した場合に多く見られることが多いです。これらの状態を診断するためにも、B型肝炎の場合は、抗原抗体検査の種類が他の肝炎よりも多くなります。(図1)自己免疫による肝炎は血中の自己抗体を検査し診断されます。脂肪肝はメタボの有無、アルコールの飲酒歴、薬剤の服用歴などから他の肝炎の原因を否定した上で診断されます。また肝炎が疑われる際の腹部CT検査や超音波検査による画像診断は、肝臓の状態を評価するほかに、肝機能障害の原因となる**肝炎以外の病気を鑑別するためにも行われます**。

*1 垂直感染(母子感染)・・・妊娠中あるいは出産前後に母親から赤ちゃんへと感染すること

ちょっとお耳を……

鉄分について

成人の体内には3～4gの鉄が存在し、その大部分はヘモグロビンとして赤血球の中に含まれ、身体の隅々にまで酸素を運ぶという重要な働きをしています。ヘモグロビンの合成に必要な鉄分が欠乏すると、身体の組織に酸素が十分に行きわたらず、疲れやすい、めまい、動悸、息切れ、立ちくらみなどの症状が現れるようになります。これが、「鉄欠乏性貧血」です。



特に、成長期の子供や妊婦、授乳婦の方は鉄分の消費が激しいので、工夫しながら日常的に摂る必要があります。

●食品に含まれる鉄分

鉄分は、人の体内では合成することができないため、食べ物から補わなければなりません。食品に含まれる鉄には**肉や魚に含まれる「ヘム鉄」**と**野菜や豆類に含まれる「非ヘム鉄」**の2種類があります。ヘム鉄と非ヘム鉄の特徴は、以下の通りです。

ヘム鉄	非ヘム鉄
<ul style="list-style-type: none"> ・体内に吸収されやすい鉄(15～20%) ・動物性食品に含まれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・体内に吸収されにくい鉄(2～5%) ・植物性食品に含まれる
ヘム鉄を多く含む食品	非ヘム鉄を多く含む食品
豚レバー、鶏レバー、赤身の肉、鰹、いわし、まぐろ、赤貝など	ほうれん草、小松菜、大豆製品、ひじき、のり、切り干し大根、プルーン、卵黄など

鉄分を食事から効率的に得るためには、**ヘム鉄が含まれている動物性食品を選びましょう**。

●鉄の吸収率に影響を与えるもの

体内での鉄の吸収は、同時に摂取する食べ物の成分に影響を受けます。

・ビタミンCと一緒に摂る

鉄分はビタミンCと一緒に摂ることで吸収率を高めることができます。レモン、ブロッコリー、黄パプリカ等のビタミンCを含む食材と一緒に調理したり、食後に柑橘類などの果物を食べるなど工夫するとよいでしょう。

・タンニンの摂取を控える

濃い緑茶やウーロン茶、紅茶、コーヒーなどに含まれるタンニンは、非ヘム鉄の吸収を妨ぐるので、食事中や食事前後の摂取を控えましょう。

鉄分は生体の機能を維持する上で必要なミネラルです。一度にたっぷり摂るといよりは、毎日欠かさず摂取することを意識しましょう。